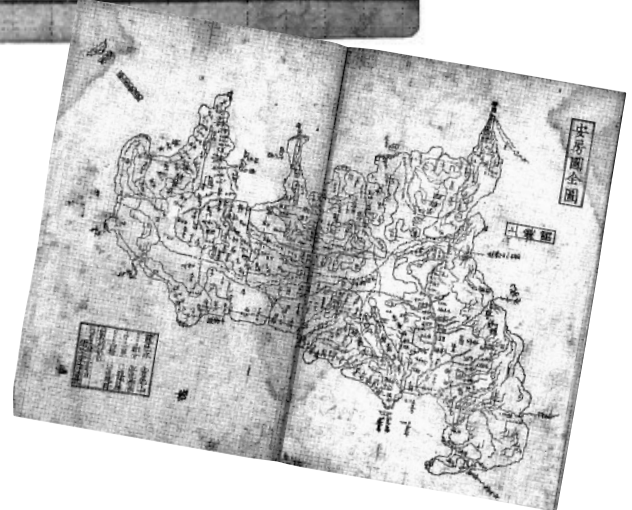


千葉文化

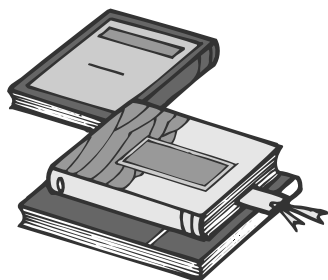
CHIBA PREFECTURAL CENTRAL LIBRARY
千葉県立中央図書館報



資料散策 55

『安房めぐり』
江戸後期刊 和装本

天保9年（1838年）初版。安房地方の地名と名所・旧跡の案内記。
安房国を安房郡、平群郡、朝夷郡、長狭郡の4地区に分け、各郡の地名を列挙しています。
ページの上には、各地域の神社・仏閣の由来や、安房地方にゆかりの深い日蓮・源頼朝にまつわる名所旧跡の歴史を絵入りで紹介しています。



図書館も「すごい」

千葉県立中央図書館長 堀井 和夫

20年近く前ですが、当時の文部省派遣で、ヨーロッパ教育事情視察団の一員としてイタリア、フランス、西ドイツをめぐる機会を得ました。視察中の2週間は、当時若干30歳代の教員として、授業の様子や学校の施設、教師や保護者の姿勢などなど、日本との比較をしながらうらやましく感じたり、逆に自信を持ったりの毎日でした。「やはり日本の教育は素晴らしい」と言う仲間の言葉どおり、授業の質や教師のきめ細かい指導力などは日本が上回っていたように思えてなりません。

しかし、いわゆる先進国と呼ばれた当時のヨーロッパ諸国を訪問し、誰もが感銘するのは、その歴史と文化の荘厳さだと思います。

草花や樹木を大切に作る気持ちがライン河畔の街並みの美しい風景をつくり、歴史や伝統と共存しようとする気持ちがパリやローマの街並みを維持しているように感じました。

どの都市でも圧倒されたのは石の文化の重厚さです。特に忘れられないのは、ローマでの夕食後の散策で目に付いたショーウィンドーの美しさでした。今思えば、例の「高級ブランドショップ街」だったのでしょいか。石造りの建物のそれぞれに、適度な照明の中に浮かび上がるように美しく衣服や貴金属がならべられていました。中でも、女性の下着が芸術作品のように飾られていたのには「文化の差」を感じさせられ、「すごい」と思いました。

この4月から初めて図書館に勤務し、「図書館は本を貸すだけの場所じゃないよ」と、異口

同音に説明を受けてきました。本は“自分で買うもの”、図書館は“静かに勉強する場所”と思い込んでいた私にとって、ヨーロッパ視察以来2度目のカルチャーショックでした。確かに中央図書館には、86万冊に及ぶ本のみならず膨大な量の千葉県資料や貴重な文献等と、それらを駆使してレファレンスを行う優秀な司書や職員の皆さんが揃っています。そして、日々県民サービスの向上を目指して頑張っています。昨今の厳しい経済情勢の中で、図書館員や図書費の増加は望めませんが、この努力と、図書館員としてのプライドが「千葉県の文化」を維持発展させる原動力になっていることは間違いありません。館長として、このような素晴らしい職員の方々といっしょに勤務できる幸運と責任を大いに感じる今日この頃です。

そこで、ちょっとだけ言わせていただければ、この図書館の持つ資源と実力をもっと多くの県民の皆さんに知っていただき、利用していただく必要があると思います。これまでは図書館側からの宣伝が遠慮気味であったように感じます。「待ち」から「攻め」へ転換する時期だと思えます。攻めの手段としては、県立3館により統合強化される「次期電算システム」の活用です。来年2月からはこの電算システムの統合により、県民サービスの質と量が飛躍的に改善されるはずで、このことを、今から胸を張って宣伝していくことが必要だと思えます。私が見たヨーロッパの「ショーウィンドー」のように、図書館も「すごい」と言っていただけのように。

❁❁❁❁ 県立図書館の動き ❁❁❁❁

<今後の千葉県立図書館の在り方を検討>

県民だれもが、あらゆる資料や情報を、いつでも、どこでも、身近に利用できるよう、市町村立図書館等への援助の充実、専門的な資料や情報を活用した調査相談、豊かな蔵書の構築や電子情報の提供など、これからの時代を展望し、図書館運営の展開や推進に当たっての指針となるような千葉県立図書館運営の在り方について、図書館協議会から今年度、答申を頂く予定となっています。

<千葉県立図書館統合電算システム構築事業>

県立図書館では、図書館サービスの向上を図るため、平成19年2月を目途に、県立3館の電算システムを中央図書館に統合し、インターネットでの図書予約やメールによる調査相談(メールレファレンス)の受付が実施できるよう準備を進めています。

詳しい内容については、次号で御紹介します。

❁❁❁❁ 県内図書館の動き ❁❁❁❁

<子どもの読書活動推進計画>

平成14年8月、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が決定され公表されました。これを受け、千葉県では子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境を整備することを目指し、推進計画を策定しました。

本県では、国の基本的方針をふまえ、推進の柱を「家庭・地域・学校を通じた子どもが読書に親しむ機会の提供と充実」「子どもの読書環境の整備・充実」「子どもの読書活動に関する理解と関心の普及」「推進体制の整備」としています。県内における策定状況は、平成18年4月現在、

全体の25%にあたる14市町村が策定を完了しています。

<指定管理者制度>

地方公共団体が設置する公の施設の管理については、平成15年の地方自治法の一部改正に伴い「指定管理者制度」が導入されることとなりました。法律改正以前から、公立図書館では、その管理を公共団体、公共的団体、地方公共団体の出資法人で政令で定めるものに委託することができましたが、この制度の導入により、民間団体も図書館の管理を行うことが可能になったものです。

公の施設の設置目的を効果的に達成するため、指定管理者制度を導入する必要があるか否かの判断は地方自治体に委ねられています。

県内の動きとしては、野田市が平成18年4月からせきやど図書館に指定管理者制度を導入しており、同市立南・北図書館についても、19年度からの導入を予定しています。

<心を豊かにする親子読書フォーラム>

9月30日(土)の午後、千葉県文化会館にて、千葉県公共図書館協会を軸とした千葉県子ども読書推進フォーラム実行委員会主催の『心を豊かにする親子読書フォーラム』(独立行政法人国立青少年教育振興機構の子どもゆめ基金助成事業)が開催されました。

浦安市立中央図書館主任司書の島本まり子氏の「浦安市立図書館の児童サービス」と題した講演と、子どもと本をよりよく結びつける「ひと」の重要性をテーマとしたパネルディスカッション(コーディネーター:元国立国会図書館国際子ども図書館長 亀田邦子氏、パネリスト:文庫関係者1名、小学校教諭1名、公共図書館職員2名)が行われました。

140名の方々が参加され、盛会のうちに終了しました。

千葉大学附属図書館本館

ルポルタージュ千葉55

J R西千葉駅を降りると、目の前が千葉大学の西千葉キャンパスです。緑多い広大な敷地の中央に附属図書館本館があります。学生たちがひっきりなしに自転車でやってきては、図書館に入っていきます。

所蔵している図書は、106万冊余（和書約68万冊、洋書約38万冊）、新聞・雑誌は約1万6千タイトルあります。学術雑誌が多いのが特徴で、洋雑誌も6千タイトルを上回ります。約8千タイトルある



交通案内

J R総武線西千葉駅北口徒歩8分
京成みどり台駅徒歩8分

電子ジャーナルは、学外の方も図書館の中で利用することができます。オンラインデータベースやCD-ROM/DVDデータベースも約40タイトルあります。

公立図書館にはない学術関係の専門雑誌や電子ジャーナルを幅広く所蔵しているため、県内の企業で研究されている方、県内外の大学生や大学院生の利用もあります。閲覧サービスだけでなく、学外の方へ図書の貸出しもしています。

ホームページが充実していますので、詳しくお知りになりたい方は御覧ください。おでかけの際には予め所蔵を確認するとよいでしょう。

千葉大学附属図書館本館 利用案内（一般利用者）

開館時間

- ◇授業期間 平日 9:00～21:45
土日祝 12:30～18:00
- ◇休業期間（夏休み等授業のない期間）
平日のみ 9:00～16:45

資料の貸出（新館2～4階閲覧室及び書庫内の資料）

- ◇満20歳以上の方、2冊以内、3週間以内

書庫の利用時間

- ◇書庫（和書・洋書） 平日 9:00～19:00
雑誌書庫 平日 9:00～17:00
（休業期間は16:45まで）
- ◇土曜・日曜・祝日は、雑誌の利用はできません。
- ホームページ <http://www.ll.chiba-u.ac.jp/>

中央図書館アスベスト除去工事完了について（お知らせ）

アスベスト除去工事等のため、平成17年12月から一部のサービス及び施設を休止させていただいておりましたが、工事が完了し安全が確認されたため、平成18年7月21日から全面開館をいたしました。この間、皆様には、御不便をおかけし誠に申し訳ありませんでした。

全面開館に併せて資料検索コーナーのリニューアルを行い、判例雑誌と判例集の一部を3階新聞雑誌室から2階へ移動し、利便性を図りました。判例関係の調査相談や情報検索（法律判例文献情報等）は、2階レファレンスデスクでお受けいたしますので、どうぞ御利用ください。

- 開館時間：一般資料室 火曜日～金曜日／9:00～19:00
土曜日・日曜日・祝日・休日／9:00～17:00
千葉県資料室・新聞雑誌室・児童資料室／9:00～17:00
- 休館日：月曜日（ただし、祝日・休日にあたる場合はその翌日）
第3金曜日（ただし、祝日・休日にあたる場合はその前日）
年末年始（12月28日～1月4日）・特別整理期間

千葉県立中央図書館 TEL043-222-0116

<http://www.library.pref.chiba.jp/>
〒260-8660 千葉市中央区市場町11-1

